

商業科・情報ビジネス科では年間を通じて検定試験を受験し、学習の達成度を確認しています。今回、検定受験にて1級を6種目取得し塩山高校を卒業した情報処理科の近藤美咲さんに、その取り組みを通じて感じたことを書いてもらいました。

私にとって検定は、自分自身を成長させてくれ、努力した証にもなりました。
高校入学当時は、新たに学ぶ分野に不安もありましたが、授業はとても分かりやすく、簿記や情報処理など様々な検定を取得するたびに自分の成長を実感し、自信にもつながっていききました。また、同じ目標を持った仲間と共に切磋琢磨した時間はとても楽しく、仲間がいたからこそ頑張れました。時には、検定に落ちてしまうこともありましたが、それはもう一度学習し直し、知識をしっかりと身に付けるチャンスと捉え勉強に取り組みました。そして2回目の受験で合格できた時は達成感が得られ、今までの努力が報われたと嬉しかったです。勉強や部活動において、努力すればただ結果につながる
と思います。もちろん、すべてが結果につながる訳ではないですが、結果が出ないとしてもそれが自分の経験として残り、成長させてくれるはずです。



特集 縁の下での力持ち！！

Q. どのような仕事をしていますか？

頑張る人を応援する仕事です！

来客・電話対応、進路行事の補助、データ入力や会計業務、郵便物の仕分け・開封、資料の整理整頓、そして主に3年生の進路サポート等の業務を行っています。進路サポートといっても仕事内容は様々ですが、生徒の進路相談役として進路希望先の情報提供や過去問の準備、企業の方との窓口業務等の進路指導にかかわる仕事をしています。



Q. この仕事をしていてどんなときにやりがいを感じますか？

生徒が希望の進路先に合格できた時のほっとした表情を見ることがです。進路の選択は幅が広く奥深いもので難しい面もありますが、目標に向かって努力した分だけ、未来が開けるものだと思います。日頃から生徒の努力している姿を見てきたからこそ、合格報告に来てくれた時は、「少しでも役に立つことができたかなあ〜」と嬉しさと喜びを感じます。

生徒からの「ありがとう」という、その気持ちだけで日々頑張ることができます。

Q. 塩山高校の生徒に対して一言！

「どうせできない、やっても無理」とあきらめるよりも「やる気！」。やる気の積み重ねが成功につながり、未来が輝くでしょう。

今日から次の5つの心を持って、日々の大切な時間を過ごしてみましょう。

【好奇心】いろいろなことに興味を持つ。どこかで自分の人生を好転させてくれるチャンスをつかむことができる。

【持続性】途中で諦めるのではなくやり遂げる。自分にとって意味あるものだったのかそうでなかったのかわかるだろう。

【柔軟性】過度なこだわりは持たず、他の人の意見や新しい視点を積極的に受け入れよう。

【楽観性】「きっと大丈夫！」とポジティブな態度で取り組む。難しい挑戦を成功に導くカギとなるだろう。

【冒険心】せっかく興味をもったなら、一歩踏み出してみよう。成功の反対語は失敗ではなく「挑戦しないこと」。

勉強は少し苦手でも、そこであきらめ淡々と日々を過ごすのではなく、一日一日を悔いなく歩みましょう。

校訓

「和敬 叡智 創造」

マスコットキャラクター／ソルトガンパール君



発行：山梨県立塩山高等学校

〒404-0047 山梨県甲州市塩山三日市場 440-1

TEL 0553-33-2542

発行日：令和3年3月



EZtimes

ここが未来の起点

関東・全国大会出場



ウエイトリフティング部

関東大会出場



卓球部

地域とつながる学びの先に



「新型コロナウイルスとまちづくり

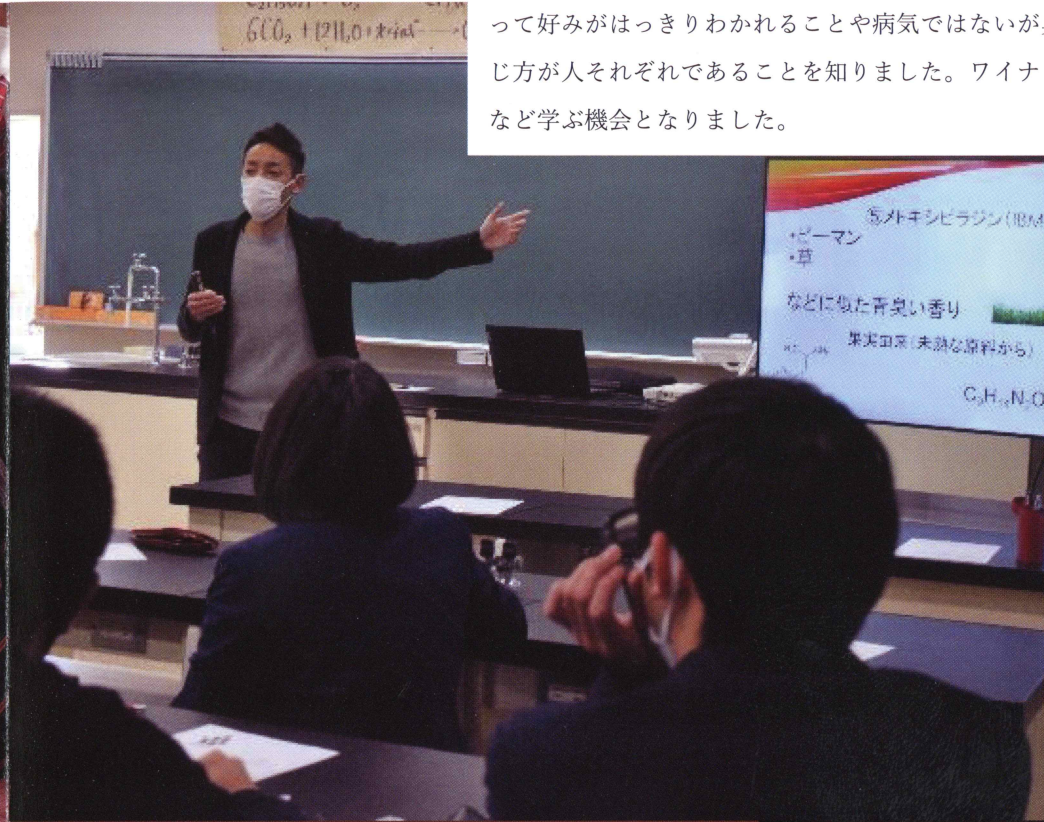
～高校生から高齢者までが協力してできること～

地域の方とグループワークを行いました。短い時間ながら、共通の活動を通じて大きく成長することができました。



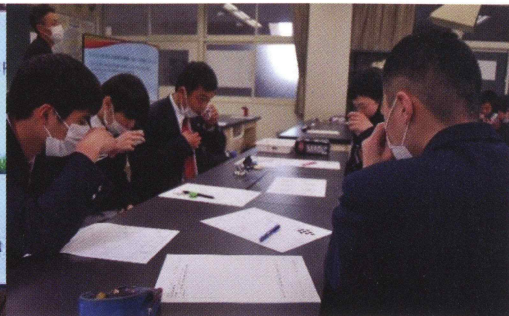
「甲斐サーモン商品開発プロジェクト」

商業科の課題研究の授業の一環で、山梨県の新たな特産品開発に取り組みました。甲州市や業者の方と協力し、商品の味付け、商品名、パッケージデザインなどを行い、「燻製甲斐サーモンレッド～縁（えん）」を完成させ、実際に甲州市内の観光地で販売していただけることになりました。この活動を通じて、一つの商品をゼロから作り上げる大変さを学ぶことができただけでなく、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に付けることができました。



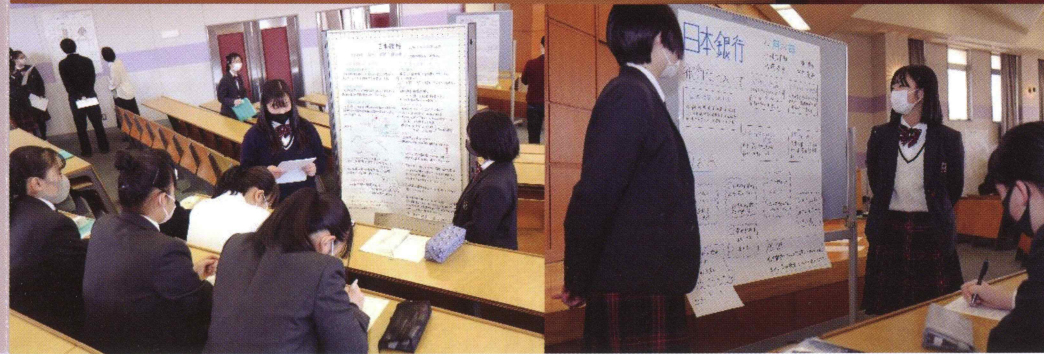
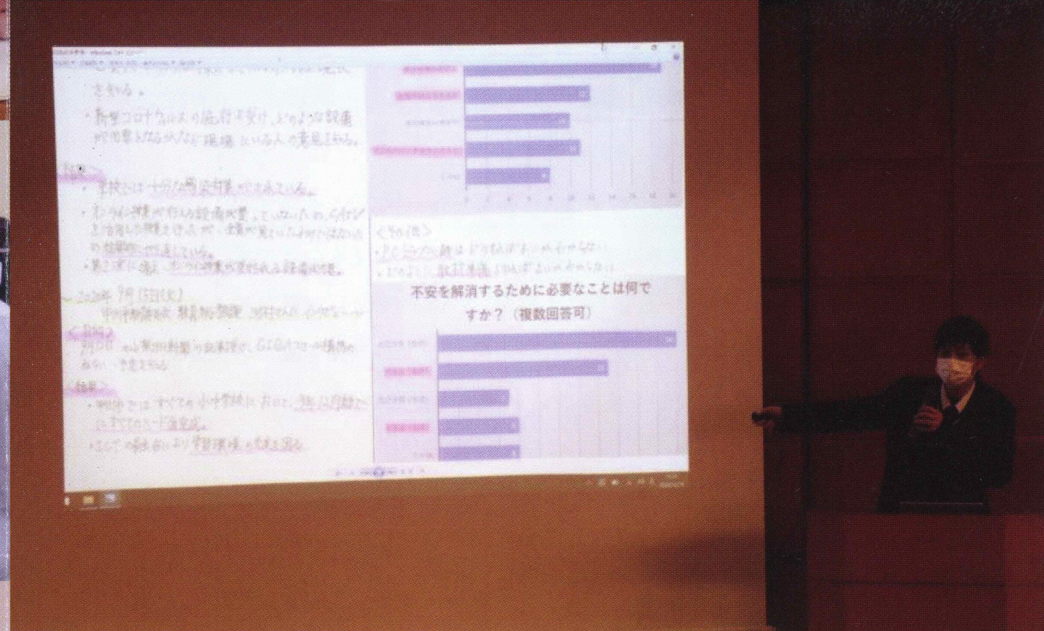
「ワインから香りを学ぶ ～プラスとマイナス～」

2年生英数コースでは、塩山洋酒醸造株式会社代表取締役・山梨大学ワイン科学士である萩原弘基氏をお招きして、地域に根ざした科学技術であるワイン醸造について学びました。香りは人によって好みがはっきりわかれることや病気ではないが臭いを感じ取れない人もいて、香りについて感じ方が人それぞれであることを知りました。ワイナリー見学もさせていただき、仕事に対する意識など学ぶ機会となりました。



「総合的な学習の時間 活動発表」

3年生は1年を通じて調査研究してきた内容を発表しました。将来教員を目指している生徒は、新型コロナウイルスと教育の関係をテーマに探究した活動報告をしました。今後教育において導入が進む ICT の活用について、技術力や応用力などソフト面の問題解決が鍵になることを、アンケート等を通じて学びました。将来看護師を目指している生徒は、病院でのコロナウイルス対策を通じて、私たちも感染対策をしっかりとすることが大事だと訴えました。自分自身で作成したポスターも披露しました。発表した生徒は人前で話すことに緊張していましたが、発表を終えこの活動のやり遂げた達成感や充実感を感じていました。1年生は、様々な職業の方にインタビューしたことをまとめ、ポスターセッションを行いました。新型コロナへの対応を直に聞き、職業の意義や自身の将来を考える貴重な機会になりました。



新たな自分と出会えるチャンス。